

令和6年度ネットリサーチ「反射材用品」に関する調査結果報告書

■結果のポイント

- 反射材用品の使用状況については、「使用している」が14.5%となっている。一方で、「持っていない」が67.7%となっている。
- 使用してみたい反射材用品については、「小さくさりげないもの（キーホルダー、シール等）」が59.2%で最も高く、「反射だけでなく発光・点滅するもの」が24.1%と続く。

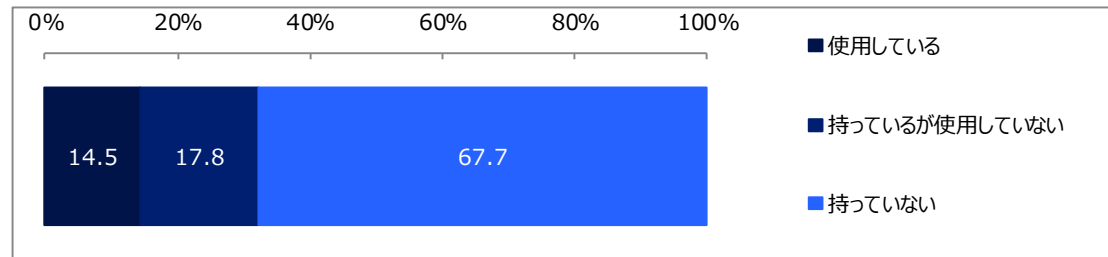
■調査結果の概要

1 反射材用品の使用状況

◇ 「使用している」が14.5%となっている。一方で、「持っていない」が67.7%となっている。

Q1.あなたは、夕暮れ時から夜間の買い物等の外出時に、反射材用品を使用していますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
使用している	14.5	145
持っているが使用していない	17.8	178
持っていない	67.7	677



(参考)

反射材用品とは、自動車の運転者などに自分の存在を知らせるため、自動車のライト等から出る光を反射する交通安全グッズです。

茨城県警察では、交通事故防止のため、夜間に自転車や徒歩で外出するときは反射材用品を着用するように呼びかけています。

詳しくは、こちらをご覧ください。茨城県警察 HP：https://www.pref.ibaraki.jp/kenkei/a02_traffic/jikoboushi/night.html

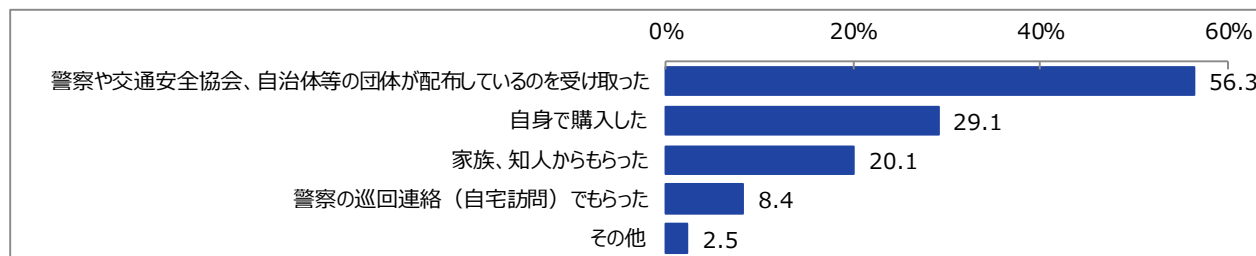
2 反射材用品の入手先

◇ 「警察や交通安全協会、自治体等の団体が配布しているのを受け取った」が56.3%で最も高く、「自身で購入した」が29.1%と続く。

(Q1で「使用している」「持っているが使用していない」と回答された方へ)

Q2.お持ちの反射材用品は、どのように入手しましたか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

	%	n
全体	100.0	323
警察や交通安全協会、自治体等の団体が配布しているのを受け取った	56.3	182
自身で購入した	29.1	94
家族、知人からもらった	20.1	65
警察の巡回連絡（自宅訪問）でもらった	8.4	27
その他	2.5	8

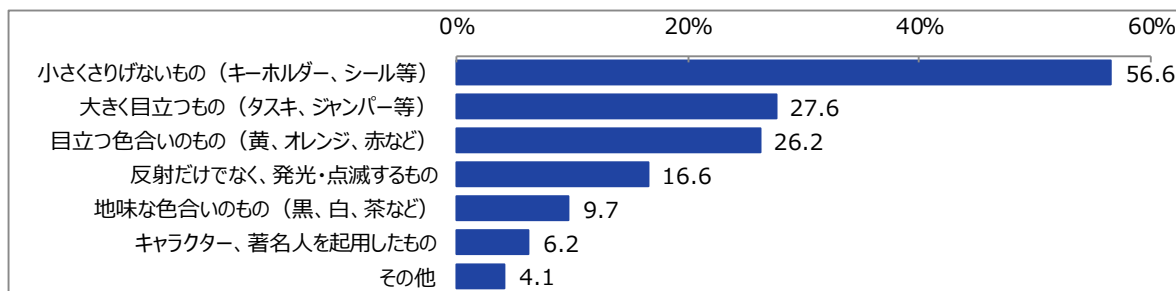


3 使用している反射材用品

◇ 「小さくさりげないもの（キーホルダー、シール等）」が56.6%で最も高く、「大きく目立つもの（タスキ、ジャンパー等）」が27.6%と続く。

Q3.あなたが使用している反射材用品はどのようなものですか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

	%	n
全体	100.0	145
小さくさりげないもの（キーホルダー、シール等）	56.6	82
大きく目立つもの（タスキ、ジャンパー等）	27.6	40
目立つ色合いのもの（黄、オレンジ、赤など）	26.2	38
反射だけでなく、発光・点滅するもの	16.6	24
地味な色合いのもの（黒、白、茶など）	9.7	14
キャラクター、著名人を起用したもの	6.2	9
その他	4.1	6

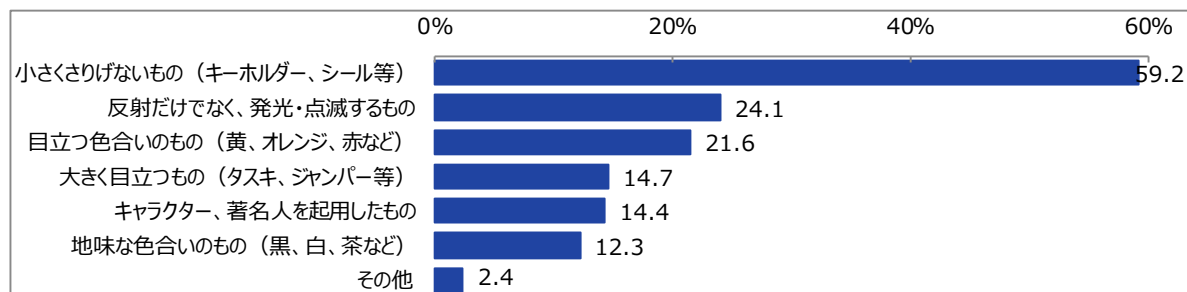


4 使ってみたいと思う反射材用品

◇ 「小さくさりげないもの（キーホルダー、シール等）」が59.2%で最も高く、「反射だけでなく発光・点滅するもの」が24.1%と続く。

Q4.あなたはどのような反射材用品なら使ってみたい、または、使っても良いと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
小さくさりげないもの（キーホルダー、シール等）	59.2	592
反射だけでなく、発光・点滅するもの	24.1	241
目立つ色合いのもの（黄、オレンジ、赤など）	21.6	216
大きく目立つもの（タスキ、ジャンパー等）	14.7	147
キャラクター、著名人を起用したもの	14.4	144
地味な色合いのもの（黒、白、茶など）	12.3	123
その他	2.4	24



■調査の目的

薄暮時以降の歩行者交通事故防止のために有効である反射材用品の普及・使用状況等を把握することで、今後の普及啓発活動の参考資料とする。

■実施概要

・実施期間：令和6年10月4日～10月15日

・サンプル数：茨城県常住人口調査（令和6年4月1日現在）に基づく性別・年代・居住地（5地域）の割合で割り付けた18歳以上の県民1,000サンプル

回答者数（人）

		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		110	246	93	362	189	1,000
性別	男性	57	126	50	187	99	518
	女性	53	120	43	175	90	482
年代別	18～29歳	17	41	16	70	33	177
	30歳代	16	42	16	61	30	165
	40歳代	21	54	20	81	41	217
	50歳代	28	59	21	83	44	235
	60歳代	28	50	20	67	41	206

県北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、久慈郡

県央：水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、東茨城郡、那珂郡

鹿行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県南：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡

県西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(注)

1. 「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。
4. 男性18～29歳の回収件数は、「県北」及び「県央」の地域で目標値（上記の件数）を下回ったため、男性30歳代で「県北」3サンプル及び「県央」2サンプルを超過回収し、地域×性年代の人口分布に極力近づくように調整した。